

^{NTT}
docomo

F-52A

arrows NX9

取扱説明書

はじめに

「F-52A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

「取扱説明書」アプリ (eトリセツ) (本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



【ご利用方法】

ホーム画面で  → [取扱説明書]

※初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

※「my daiz」から「取扱説明書」(eトリセツ) アプリを呼び出すこともできます。



Wi-Fiの
使いかた

「Wi-Fi」を
説明書アプリで
調べます。



「取扱説明書」(PDFファイル)

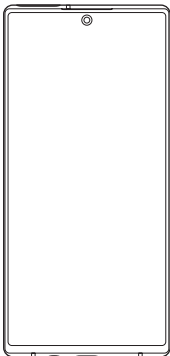
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

本書の見かた

- 本書においては、「F-52A」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本書は端末色が「ホワイト」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。

本体付属品

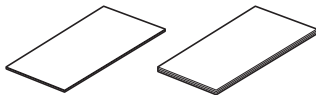
■ F-52A本体



■ SIM取り出しツール（試供品）



■ クイックスタートガイド ご利用にあたっての注意事項



- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

■本体付属品	1
--------------	---

注意事項 5

本端末のご利用について	5
おすすめ機能	6
安全上のご注意（必ずお守りください）	7
取り扱い上のご注意	17
防水／防塵、耐衝撃性能	24

ご使用前の準備 33

各部の名称と機能	33
ドコモnanoUIMカード	35
microSDカード	37
充電	39
電源を入れる／切る	41
初期設定	43
本端末で利用する暗証番号について	44

基本操作 47

基本操作	47
文字入力	49
画面表示／アイコン	55
タスク管理	61
画面表示の拡大	62
分割画面	62
スグアプ	63

ホーム画面 66

ホームアプリの切り替えかた	66
docomo LIVE UX	66
ホーム画面の見かた	66
ホーム画面の管理	67
アプリ一覧画面	69
おすすめアプリを利用	73
アプリを探す	73
マイマガジン	74
my daiz NOW	74
ホームアプリの情報	75

電話／電話帳 76

電話をかける	76
電話を受ける	78
通話中の操作	80
発着信履歴	81
伝言メモ	82
通話設定	82
電話帳	83

メール／ウェブブラウザ 87

ドコモメール	87
+メッセージ	87
Gmail	92
緊急速報「エリアメール」	93
Chrome	95

カメラ	98	アプリと通知	131
カメラ	98	電池	133
フォト	107	表示の設定	134
		音	136
		ストレージ	138
アプリ	108	プライバシー	138
dメニュー	108	セキュリティ	139
dマーケット	108	ドコモのサービス/クラウド	144
Play ストア	108	アカウント	145
おサイフケータイ	110	ユーザー補助	146
radiko+FM	112	arrowsオススメ機能	147
ララしあコネクト	112	Digital Wellbeing と保護者による使用制限	149
FASTシェア	114	Google	149
位置情報・GPS	115	言語と入力	150
スケジュール	117	動作	151
時計	118	日付と時刻	152
電卓	119	バックアップ	152
検索	119	リセット オプション	152
ドコモデータコピー	120	診断データ送信	153
		デバイス情報	153
本体設定	122	ファイル管理	154
設定メニュー	122	本体 (内部ストレージ)	154
Wi-Fi	123	microSDカード (外部ストレージ)	154
モバイル ネットワーク	126	ファイル操作	155
データセーバー	128		
アクセス ポイントとテザリング	128	データ通信	156
機内モード	129	Bluetooth®通信	156
VPN (仮想プライベートネットワーク)	130	NFC通信	159
プライベートDNS	130		
接続の設定	131		

外部機器接続 160

パソコンとの接続	160
プリンタとの接続	160
その他の機器との接続	161

海外利用 164

国際ローミング (WORLD WING) の概要	164
海外で利用可能なサービス	164
海外でご利用になる前に	164
滞在先で電話をかける／受ける	167
国際ローミングの設定	168
帰国後の確認	169

付録 170


トラブルシューティング (FAQ)	170
ソフトウェアアップデート	176
保証とアフターサービス	178
あんしん遠隔サポート	181
主な仕様	182
携帯電話機の比吸収率 (SAR)	184
Specific Absorption Rate(SAR) of Mobile Phones	185
輸出管理規制	191
知的財産権	192
SIMロック解除	194

索引 195

索引	195
----------	-----

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波が届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア、LTEサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンがを表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P139
- 万が一紛失した場合は、Gmail™、Google Play などのGoogle™ サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。

- Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google および各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- ディスプレイの明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変わる場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

■ FASTメモ

本端末の操作中や、ロック画面からすばやくメモ（テキスト・音声）や写真をとることができます。→P147

■ FASTフィンガーランチャー

指紋センサーに触れると、ロック解除とよく使うアプリの起動が簡単にできます。→P142

■ FAST Appドライブ

よく使うアプリを登録することで、アプリをすばやく起動することができます。→P147

■ FASTシェア

撮影した静止画／動画を特別なアプリのインストール不要で、簡単にすばやく共有することができます。→P114

■ ゲームゾーン

快適にゲームをプレイするための各種設定ができます。→P147

■ ワイプ撮影

被写体と撮影者を同時に撮影できます。ワイプ画像の位置、大きさ、形を変更することもできます。→P102




■ AIオートショット

写真撮影をするだけで、撮影した写真と一緒にAIがおすすめの写真やモーションを自動的に保存します。→P105

機能の詳細については、富士通のホームページ (<https://www.fmworld.net/product/phone/f-52a/>) をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。







 危険	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。</p>
 警告	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。</p>
 注意	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。</p>

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	<p>禁止（してはいけないこと）を示す記号です。</p>
 分解禁止	<p>分解してはいけないことを示す記号です。</p>
 水濡れ禁止	<p>水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。</p>
 濡れ手禁止	<p>濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。</p>
 指示	<p>指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。</p>
 電源プラグを抜く	<p>電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。</p>

◆ **本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカード、SIM取り出しツール（試供品）の取り扱い（共通）**

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の外装ケース（背面）を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほごりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。防水・防塵性能については以下をご参照ください。→P24「防水/防塵、耐衝撃性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。スロットキャップのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆本端末の取り扱い

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

フラッシュ/ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュ/ライトを点灯、発光しないでください。運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のスロットキャップの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

ドコモ nanoUIM カードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM 取り出しツールの先端にご注意ください。

SIM 取り出しツールの先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については以下をご参照ください。

→P16「材質一覧」



指示

本端末のアウトカメラ部、インカメラ部、受話口部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

◆アダプタの取り扱い

⚠警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリースOCKETに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り扱い

⚠️ 注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

⚠️ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

■ F-52A 本体

使用箇所	材質／表面処理	
ディスプレイパネル	強化ガラス／AFコーティング	
外装ケース	PBT樹脂+アルミ／アルマイト処理	
受話口／スピーカー	アルミ／アルマイト処理	
フラッシュ／ライトパネル	PC樹脂／なし	
アウトカメラパネル	PMMA・PC複合材／ハードコート	
電源キー	アルミ／アルマイト処理	
音量キー	アルミ／アルマイト処理	
スロット キャップ	キャップ本体	アルミ／アルマイト処理
	キャップ本体パッキン部	シリコンゴム／なし
	トレイ	PA樹脂／なし
ステレオイヤホン端子	PA樹脂／なし	
USB Type-C接続端子	PA樹脂／なし	
カメラフレーム	アルミ／アルマイト処理	
リアパネル	PMMA・PC複合材／ハードコート	

■ SIM取り出しツール（試供品）

使用箇所	材質／表面処理
本体	ステンレス鋼／なし

◆SIM取り出しツール（試供品）の取り扱い

⚠警告



禁止

SIM取り出しツールの先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
けがや失明などの原因となります。

⚠注意



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。SIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- F-52Aは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
 - アダプタ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジンなどで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
 - 端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
 - 指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。

◆ 本端末についてのお願い

- ディスプレイを強く押ししたり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。風呂場でのご使用については、「F-52Aが有する防水性能でできること」（→P25）をご参照ください。
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
 - 万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。
 - 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
 - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
 - キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
 - 近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。近接センサーの位置は、以下をご参照ください。→P33「各部の名称と機能」
- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
 - 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆ アダプタについてのお願ひ

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

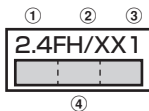
◆ ドコモnanoUIMカードについてのお願ひ


- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
 - IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけません。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
 - 万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。

- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
- 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH/XX : 変調方式がFH-SS方式およびその他の方式 (DS-SS方式 / DS-FH方式 / FH-OFDM複合方式 / OFDM方式以外) であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④  : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国/地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN (WLAN) についてお願い

■無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

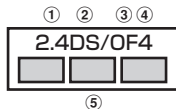
●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

●周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャンネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

5.2/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く）。本端末が日本で使用できる周波数とチャンネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5180～5240MHz（36、38、40、42、44、46、48ch）
- 5.3GHz帯：5260～5320MHz（52、54、56、58、60、62、64ch）
- 5.6GHz帯：5500～5720MHz（100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140、144ch）

◆FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆ SIM取り出しツール（試供品）についてのお願い

- 無理な力がかからないように使用してください。
 - 故障、破損の原因となります。
- SIM取り出しツールを、スロットキャップのイジェクトホール以外の穴などに挿入しないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。
 - 携帯端末の故障、破損の原因となります。

◆ 注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「**技術マーク**」が本端末の電子銘板に表示されております。

電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で **+** → [設定] → [デバイス情報] → [規制ラベル]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-52Aは、スロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能、IP6X^{*3}の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験^{*4}をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※4 米国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.6-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

落下	高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験
耐衝撃	40Gの衝撃を6方向から3回与える試験
防水（浸漬）	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
防塵（6時間風速有り）	連続6時間（粉塵10±7g/m ³ 、風速8.9m/s）の粉塵試験
防塵（脆弱面90分）	脆弱面に最小で90分間砂を当てる試験

塩水耐久	連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験
防湿	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験
耐日射（連続）	連続24時間（合計1,120W/m ² ）の日射試験
耐日射（湿度変化）	温度差（+49度差）を与えると同時に、すべての湿度レベルで対日射を繰り返す試験（24時間サイクルで3回）
耐振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験
防水（風雨）	30分間にわたる18m/sの降雨試験
雨滴	1mの高さから15分間雨滴を落とす試験
熱衝撃	-21～50℃の急激な温度変化において、連続3時間の温度耐久試験
高温動作（60℃固定）	動作環境：60℃の高温試験
高温動作（32～49℃変化）	温度32～49℃までの変化を3サイクル実施する高温試験
高温保管（70℃固定）	保管環境：70℃の高温試験
高温保管（30～60℃変化）	温度30～60℃まで変化させる高温試験
低温動作（-20℃固定）	動作環境：-20℃の低温試験
低温保管（-30℃固定）	保管環境：-30℃の低温試験
低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験

低圧保管	連続1時間 (57.11kPa/約4,572m)の低圧試験
氷結 (-10℃結露)	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作確認(凍結融解)
氷結 (-10℃氷結)	-10℃の冷却水で、6mm厚の氷が張るまで氷結させる試験

米国防総省の調達基準 (MIL-STD-810G) の23項目、落下、耐衝撃、防水 (浸漬)、防塵 (6時間風速有り)、防塵 (脆弱面90分)、塩水耐久、防湿、耐日射 (連続)、耐日射 (湿度変化)、耐振動、防水 (風雨)、雨滴、熱衝撃、高温動作 (60℃固定)、高温動作 (32~49℃変化)、高温保管 (70℃固定)、高温保管 (30~60℃変化)、低温動作 (-20℃固定)、低温保管 (-30℃固定)、低圧動作、低圧保管、氷結 (-10℃結露)、氷結 (-10℃氷結) に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

◆F-52Aが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、スロットキャップの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗いができます。
 - スロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定 (→P24) 以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、指定 (→P25) 以外の石鹸などは使用しないでください。

- 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
- 洗った後は所定の方法 (→P31) で水抜きしてください。
- 本端末は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使って洗うことができます (富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社試験方法による)。上記以外 (固形石鹸や粉末石鹸など) は使用しないでください。
 - 洗いかたについては「洗いかたについて」 (→P29) をご参照ください。
- ※ 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープあるいは液体タイプの食器用洗剤で洗えることを保証するものではありません。
- 本端末についた泡は、やや弱めの水流 (6L/分以下、常温の水道水) で、しっかりすすいでください。洗った後は乾いた清潔な布で水抜きしてください。
- 本端末を洗う際はスロットキャップを確実に取り付けてください。

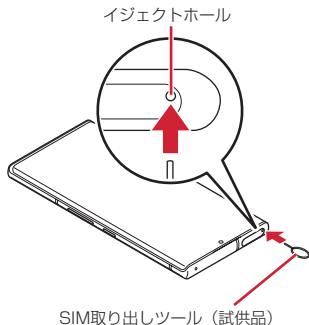
● 風呂場で使用できません。

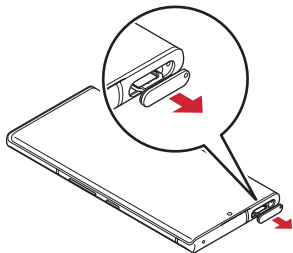
- 風呂場でご使用後は、所定の方法（→P31）で水抜きしてください。
- 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P31）で水抜きしてください。
- 温泉や指定（→P25）以外の石鹸、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
- 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%以下でご使用ください（但し、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります）。なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
- 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。
- 寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むと、急激な温度変化でディスプレイやケース表面に結露が発生する場合があります。結露によりディスプレイが見にくくなったり、タッチ操作がしにくくなったりした場合は、本端末が常温になるまでお待ちください。

◆ 防水／防塵性能を維持するために

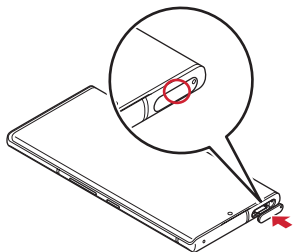
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時には、本端末のディスプレイ側を上に向け、スロットキャップのイジェクトホールにSIM取り出しツール（試供品）を水平に差し込んでスロットキャップを開け、矢印の方向にまっすぐ水平に引き出します。
※ スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。





- 使用後はスロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込み、○部分をしっかり押します。本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。



- スロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、スロットキャップなどを尖ったものでつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



指定以外の
石鹸／入浴剤をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水に浸ける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- オプション品は防水／防塵性能を有していません。本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタを接続している状態では、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P24）以上の強い水流を直接当てないでください。F-52AはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。

- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイクに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- USB Type-C接続端子に水滴を残さないでください。
- 本端末を洗うときは、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 業務用・無添加・アルカリ性の泡ハンドソープあるいは業務用・無添加・アルカリ性の食器用洗剤は使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。
- 指定（→P25）以外の石鹸、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔剤、メイク落とし、歯磨き粉などで洗わないでください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
- 洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。

- スロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- スロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

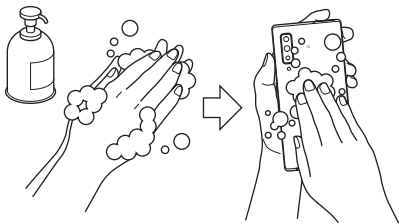
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆ 洗いかたについて

本端末を洗う場合には注意事項をご確認の上、次の手順で行ってください。

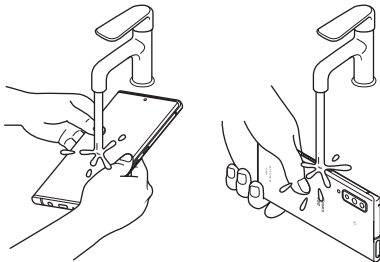
- 市販のアクセサリ商品（端末カバー、ケースなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 食器用洗剤を使用する場合は、各製品の使用上の注意をよくお読みの上、使用量の目安を守って洗ってください。
- 本端末に、食器用洗剤の原液を直接つけないでください。原液がついた場合はすぐに水で洗い流してください。
- 本端末を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本体に傷がつくおそれがあります。

- 本端末を洗う際は、電源を切ってから行ってください。
 - スロットキャップはしっかりと閉じてください。
- ① 泡ハンドソープまたは食器用洗剤を手にとり、泡立ててください。本端末を手のひらに乗せ、前面と背面を泡でこするように洗ってください。
- スロットキャップが開かないように押さえたまま洗ってください。



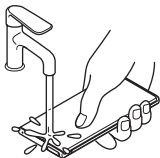
② 前面、背面、各ボタンなど、本端末についた泡が完全になくなるまですすいでください。

- やや弱めの水流（6L／分以下、常温の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗ってください。
- スロットキャップの開閉はしないでください。
- スロットキャップに直接水をかけないでください。



③ 受話口／スピーカー、セカンドマイク、ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、USB Type-C接続端子、スピーカーをすすいでください。

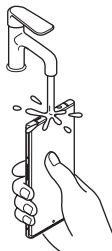
- セカンドマイク、受話口／スピーカー、送話口／マイク、スピーカーに泡ハンドソープや食器用洗剤の成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下するおそれがあります。また、USB Type-C接続端子は充電不良など故障の原因となります。しっかり洗い流してください。



受話口/スピーカー



セカンドマイク



ステレオイヤホン端子
送話口/マイク
USB Type-C接続端子
スピーカー

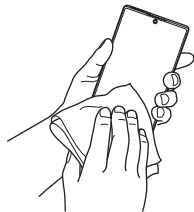
④ 水抜きをしてください。→P31

- 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

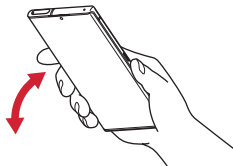
◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

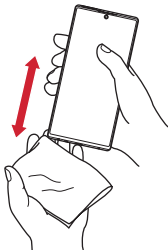
- ① 本端末をしっかりと持ち、前面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口/スピーカーとアウトカメラの位置を入れ替えて同じように振ってください。
 - 本端末を振り落とさないように、しっかり握ってください。



- ③ ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、キーなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

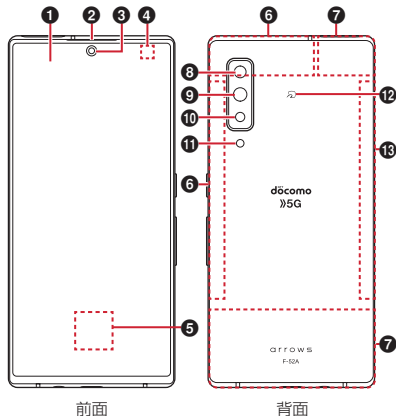
◆ 充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

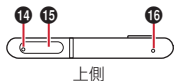
- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



- ① ディスプレイ (タッチパネル) →P47
- ② 受話口/スピーカー
- ③ インカメラ→P98
- ④ 近接センサー/照度センサー※1
通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
- ⑤ 指紋センサー→P140
- ⑥ Wi-Fi/GPS/5G/LTEアンテナ部※2
- ⑦ 5G/LTEアンテナ部※2
- ⑧ アウトカメラ (超広角レンズ) →P98
- ⑨ アウトカメラ (広角レンズ) →P98
- ⑩ アウトカメラ (ToF) →P98
- ⑪ フラッシュ/ライト
- ⑫ マーク→P110
- ⑬ Wi-Fi/Bluetooth/5G/LTEアンテナ部※2



14 イジェクトホール

SIM取り出しツール（試供品）を差し込んで、スロットキャップを引き出すときに使用します。

15 スロットキャップ^{※3}

16 セカンドマイク^{※4}

通話時に騒音を抑えるために使用します。また、ハンズフリー通話中は送話口として使用します。

17 ステレオイヤホン端子（防水）

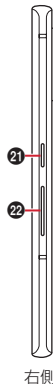
18 USB Type-C接続端子（防水）


充電時などに使用します。

USB Power Deliveryに対応しています。

19 送話口／マイク^{※4}

20 スピーカー



21  電源キー→P41、P48、P77、P129

電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。1秒以上押すとメニューが表示され、再起動、機内モードの設定／解除、画面の保存、緊急通報ができます。

22 音量キー

各種音量の調節やカメラの撮影などに使用します。

- ※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。
近接センサーの動作時は、近接センサー付近が点滅することがあります。
- ※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- ※3 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。
- ※4 保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりしないでください。

■ ご注意

- 外装ケース（背面）は取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

ドコモ nanoUIMカード

ドコモ nanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

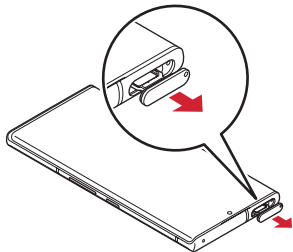
- 本端末ではドコモ nanoUIMカードのみご利用できます。ドコモ miniUIMカード、ドコモ UIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモ nanoUIMカードにお取り替えください。
- ドコモ nanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信、パケット通信などの機能を利用することができません。
- 電源を入れた状態で、ドコモ nanoUIMカードを取り付けたスロットキャップを抜き差しすると、本端末が再起動します。
- ドコモ nanoUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモ nanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ ドコモ nanoUIMカードの取り付け／取り外し

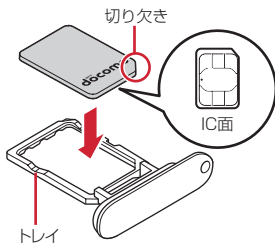
- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ドコモ nanoUIMカードの取り付けには、必ずスロットキャップを使用してください。ドコモ nanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

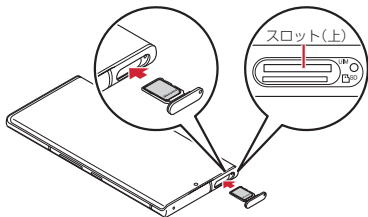
- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、スロットキャップのイジェクトホールにSIM取り出しツール（試供品）を水平に差し込む→P26
- ② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す
 - スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。



- ③ ドコモnanoUIMカードのIC面を下にして、スロットキャップのトレイにはめ込む
 - 切り欠きの方向にご注意ください。
 - スロットキャップのトレイからドコモnanoUIMカードが浮かないようにはめ込んでください。



- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、スロットキャップをスロット（上）に矢印の方向にまっすぐ水平に差し込む



- ⑤ スロットキャップをしっかりと押しつけて閉じる→P27

■ 取り外しかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、スロットキャップのイジェクトホールにSIM取り出しツール（試供品）を水平に差し込む→P26
- ② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P36
- ③ ドコモnanoUIMカードをスロットキャップのトレイから取り外す
- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、スロットキャップをスロット（上）に矢印の方向にまっすぐ水平に差し込む→P37
- ⑤ スロットキャップをしっかりと押しつけて閉じる→P27

✓お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモnanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- スロットキャップを挿入口に抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。スロットキャップが破損するおそれがあります。

◆ ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。→P45

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、1TBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2020年11月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。

- microSDカードの読み込み中や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

✓お知らせ

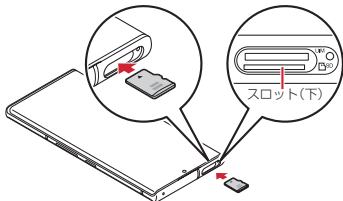
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカード（クラス10以上を推奨）をご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- スロットキャップにドコモnanoUIMカードを取り付けた状態で、microSDカードの取り付け／取り外しをするときは、電源を切ってから行ってください。
- スロットキャップにドコモnanoUIMカードを取り付けない状態で、microSDカードの取り外しをするときは、microSDカードのマウントを解除（→P138）するか、電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、スロットキャップのイジェクトホールにSIM取り出しツール（試供品）を水平に差し込む→P26
- ② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P36
- ③ microSDカードの金属端子面を下にして、スロット（下）に「カチッ」と音がするまで水平に差し込む
 - microSDカードの向きにご注意ください。

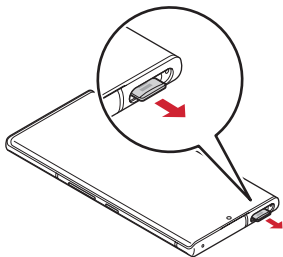


- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、スロットキャップをスロット（上）に矢印の方向にまっすぐ水平に差し込む→P37

⑤ スロットキャップをしっかり押し閉じる→P27

■ 取り外しかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、スロットキャップのイジェクトホールにSIM取り出しツール（試供品）を水平に差し込む→P26
- ② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P36
- ③ microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ水平に引き出す



- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、スロットキャップをスロット（上）に矢印の方向にまっすぐ水平に差し込む→P37
- ⑤ スロットキャップをしっかり押し閉じる→P27

✓お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

充電

◆ 充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになります。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになります。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになります。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- 電池切れの状態では充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→ P182
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

❖ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行くと、内蔵電池の寿命が短くなる場合があります。
- 「電池」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→ P133
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。
製造元 富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社



Li-ion 00

❖ ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタ、DCアダプタ、USBケーブルの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 07（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しでの充電は行わないでください。

DCアダプタ 05（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。ご利用には、別途USBケーブル A to C 02（別売品）が必要となります。

◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 07（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

- ① ACアダプタのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C 接続端子に水平に差し込む
- ② ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
- ③ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ④ 本端末のUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-Cプラグを水平に抜く

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

- 電源を入れる前に、本端末とスロットキャップの間には隙間がないことを確認してください。

1 [電源キー]を押し続ける(2秒以上)

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→ P43

2 画面ロックを解除

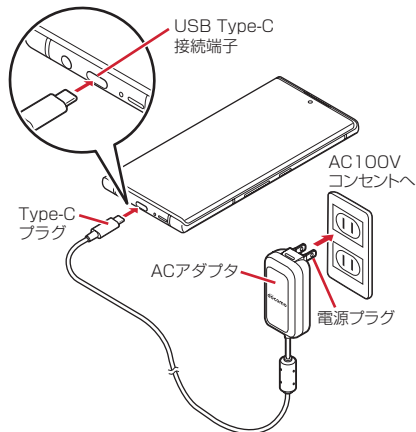
- 画面ロックの解除方法については「画面ロックの解除」をご覧ください。→P42

◆ 電源を切る

1 [電源キー](1秒以上)

2 [電源を切る]→[OK]

本端末が振動して電源が切れます。



◆ パソコンを使って充電

USBケーブル A to C 02 (別売品) などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、画面を閉じてください。

◆ スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。また、電池の消費を抑えることもできます。

1 [電源キー]

✓お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかったときも、[画面消灯] (→P135) の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆ 画面ロックの解除

1 スリープモード中に [電源キー]

2 ロック画面で [ホーム] を上にスワイプ

ロックが解除されます。



- [セキュリティ解除方法] の設定 (→P139) によっては、ロック画面をスワイプ後に認証操作になります。
- ロック画面の [カメラ] を左にスワイプするとカメラが起動します。
- ロック画面の [FASTメモ] を左にスワイプするとFASTメモが起動します。→P147

✓お知らせ

- ロック画面は約10秒後にスリープモードになります。

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

- Google アカウントの設定により表示される項目が異なる場合があります。

1 [日本語(日本)]を選択して[開始]

- 以降は画面の指示に従って以下の設定などを行ってください。
 - ネットワークの接続設定→P123
 - アプリとデータのコピー方法の選択
 - Google アカウント→P43
 - Google サービス
 - 画面ロックの設定→P139
 - 指紋によるロック解除とアプリ登録→P142
 - Google アシスタント
 - 近接センサーの点滅についての注意
 - 診断データ送信→P153

2 ドコモ初期設定画面で[次へ]

3 各項目を設定

機能の利用確認：「電話の発信と管理」の許可を設定します。

dアカウント：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。→P44

あんしん・便利：本端末をあんしん・便利に使うための機能・サービスを一括で設定します。

ドコモクラウド：データをクラウドに保存するかを設定します。

4 その他の設定項目画面で各項目を設定→[設定完了]

ホーム画面が表示されます。

✓お知らせ

- ドコモサービスの選択画面、ホーム画面を使ってみよう！画面、ホーム画面の使い方画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

◆ Google アカウントの設定

Google アカウントとは、Google の各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末に Google アカウントを設定することで、Gmail を利用して Eメールを送受信したり、Google Play を利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で[田]→[設定]→[アカウント]

2 [アカウントを追加]→[Google]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- 本端末には複数の Google アカウントを設定することができます。

◆ dアカウントの設定

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID/パスワードです。ここでは、新規でアカウントを作成する方法を説明します。

1 ホーム画面で $\left[\begin{array}{c} \text{ホーム} \\ \text{メニュー} \end{array} \right]$ →[設定]→[ドコモのサービス/クラウド]→[dアカウント設定]

2 [新たにdアカウントを作成]

- 以降は画面の指示に従って以下の項目を設定してください。
 - 連絡先メールアドレス
 - ID
 - パスワード
 - お客様情報

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ 画面ロック用パターン／暗証番号／パスワード

画面ロックの解除時に認証操作を必要とすることで、本端末のセキュリティを確保することができます。設定できる認証操作の種類には、最低4つの点を結ぶパターン、4～16桁の数字を設定する暗証番号、4～16桁の英数字と記号で設定するパスワードがあります。→P139

❖ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できません。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P46

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PUKロック）。この場合は、「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖ PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コード（PUK）は、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コード（PUK）はお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コード（PUK）の入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

◆ PINコードの設定 (SIMカードロック)

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック]
- 2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

✓お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、手順2で [SIMカードをロック] をOFFにします。

❖ PINコードの入力

- 1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→ \rightarrow

❖ PINロックの解除

PINコードがロックされた場合 (PUKロック) は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- 1 コード入力画面でPINロック解除コード (PUK)を入力→ \rightarrow
- 2 新しいPINコードを入力→ \rightarrow
- 3 もう一度新しいPINコードを入力→ \rightarrow

◆ PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定 ([SIMカードをロック] をONにする) しておく必要があります。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック]
- 2 [SIM PINの変更]
- 3 現在のPINコードを入力→[OK]
- 4 新しいPINコードを入力→[OK]
- 5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

基本操作

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。

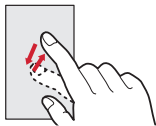
❖ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物をタッチパネルに乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

❖ タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま続けて操作を行う場合もあります。

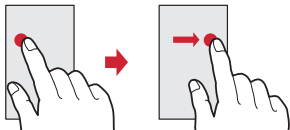
❖ ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

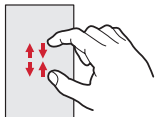
パン：Webページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

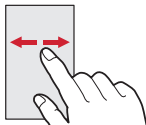
❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖ フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆ 縦／横画面表示の自動切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P134）。


- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- パネルスイッチ（→P58）の「自動回転」でも設定できます。


◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 [電源キー]（1秒以上）→[画面の保存]

スクリーンショットが保存され、ステータスバーにが表示されます。

- ステータスバーを下方向にフリックして通知パネルを開き（→P57）、スクリーンショットの通知をタップ→アプリを選択、またはホーム画面で→[フォト] をタップすると、画像を確認できます。

✓お知らせ

- 電源キーと音量キーの下を同時に1秒以上押ししても、スクリーンショットを保存できます。

◆ アプリの権限

本端末の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限を許可するかどうかの確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、アプリや機能が該当する機能や情報を利用できるようになります。

- アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認の上、操作してください。

〈例〉「メモ」アプリを初めて起動する場合

1 ホーム画面で **+** → [メモ] → [OK]
確認画面が表示されます。

2 [許可] / [許可しない]
以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で **+** → [設定] → [アプリと通知] → [XX個のアプリをすべて表示] → アプリを選択 → [権限] → 変更する権限を設定します。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P52
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P54

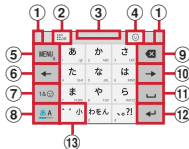
◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力で文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P50
- 上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。→P53

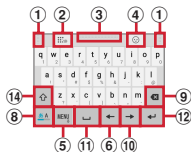
■ テンキーキーボード

- 1つのキーに複数の文字が割り当てられています。
- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P51



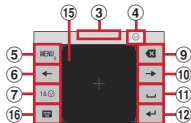
■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。



• 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

- ① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整
- ② 上書き手書き入力の有効/無効
- ③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整
- ④ 数字/記号/顔文字/絵文字一覧の表示
- ⑤ **MENU**: メニューの表示
 - メニューを表示すると、次の操作ができます。
 - テンキー**: テンキーキーボードへ切り替え
 - QWERTYキー**: QWERTYキーボードへ切り替え
 - 手書き**: 手書き入力へ切り替え
 - 上書き手書き**: 上書き手書き入力の有効/無効
 - 定型文**: 定型文の表示

記号・顔文字・絵文字: 数字/記号/顔文字/絵文字一覧の表示

テーマ切替: キーボードテーマの切り替え

引用アプリ: 電話帳の引用、パーソナルノートの引用

[設定] をタップすると、キーを上フリックしたときに起動するアプリを選択できます。

パーソナルノート: パーソナルノートの引用

設定: Super ATOK ULTIASの設定→P52

- 上にフリックすると設定した引用アプリを起動します。右にフリックして郵便番号を入力→[変換]をタップすると、郵便番号に対応した住所を入力できます。

MENU (ロングタッチ): 音声入力の起動

○: キーに割り当てられた文字を逆順に表示

⑥ カーソルを左に移動











- テンキーキーボード、手書き入力では、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、右にフリックするとカーソルを右に移動します。QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上移動、右にフリックするとカーソルを下移動します。

⑦ 数字/記号/顔文字/絵文字一覧の表示




- ⑧ **AA**: かな/英字入力モードの切り替え
- ⑧ **AA**: かな/英字/数字入力モードの切り替え
- ⑧ **AA**: かな/数字入力モードの切り替え

⑨ Backspace (カーソルの左側の文字を削除)

- 文字確定後にキーを上フリックするとカーソルの右側の文字を削除、左にフリックするとカーソルの左側の文字を全削除します。
- 文字確定後に削除した文字を元に戻すには、キーを下フリックします。

- ⑩ カーソルを右に移動
- テンキーキーボード、手書き入力では、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、左にフリックするとカーソルを左に移動します。QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、左にフリックするとカーソルを下に移動します。
- ⑪ : 空白の入力
- 上にフリックすると、全角入力時は半角の空白、半角入力時は全角の空白を入力します。
- 変換: 文字の変換
- ⑫ : 確定または改行
- 確定: 確定
- 次へ: 次の入力欄へカーソルを移動
- : 検索
- 実行: 実行
- ⑬ 小: 小文字/大文字の切り替え、濁点/半濁点をつける
- A/a: 英字の大文字と小文字の切り替え
- ⑭ シフトキー
- シフトなし () / シフト () / シフトロック ()
- : 小文字/最初の1文字のみ大文字/大文字の切り替え
- キーに割り当てられた記号も切り替わります。
- ⑮ 手書き入力領域: 指で文字を書いて入力
- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択できます。補正候補一覧の上で文字を書き直すこともできます。
- ⑯ : テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに戻る

✓お知らせ

- キーボードを非表示にするには、をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。
- 変換候補にない単語を入力して確定したとき、②の位置にが表示される場合があります。をタップすると入力した単語をユーザー辞書に登録できます。
- パスワードなどの入力画面では、入力画面とパーソナルノートで登録したID (アカウント) やパスワードなどを関連付けし、引用入力することができます。キーボード上部に表示された [パーソナルノートへの登録] をタップし、パーソナルノートに認証情報を登録して入力画面と関連付けします。引用入力する場合は、[パーソナルノートからの引用] をタップします。
 - Chrome™ では、関連付けされた画面情報をもとに、ID、パスワードが自動で引用入力されます。ただし、ID、パスワードの画面構成によっては、自動で引用入力されない場合もあります。
 - その他のアプリでは、関連付けされた画面情報をもとに、一覧画面から選択した項目が引用入力されます。


❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- [テンキー] で入力方式を選択して利用します。→P53

■フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字 (フリックガイド) が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音/半濁音/拗音/促音を入力するには、フリックした後を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

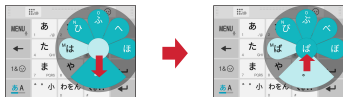
入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後^①を1回または2回タップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ば」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

◆ 入力方法の切り替え

1 文字入力中にナビゲーションバー(→P55)の^①

2 入力方法を選択

◆ 文字入力の設定

入力方法ごとに各種設定ができます。

1 ホーム画面で^①→[設定]→[システム]→[言語と入力]

2 [仮想キーボード]

仮想キーボード一覧画面が表示されます。

3 [Super ATOK ULTIAS]／[Google 音声入力]

- [キーボードを管理]をタップすると、仮想キーボード一覧画面に表示するキーボードを設定できません。

4 各項目を設定

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。

❖ Super ATOK ULTIASの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で^①→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Super ATOK ULTIAS]

2 各項目を設定

ULTIASオススメ機能：選べるキーボード、フリック学習モード、ATOK キーワード Express（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）を設定します。

操作音・パイプ：キー操作音、キー操作パイプを設定します。

テンキー：入力方式（フリック入力/ケータイ入力/ジェスチャー入力/2タッチ入力）、フリック入力（フリックガイド、フリック感度、「や」キーフリック、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の有効化、自動カーソル移動（自動カーソル移動、自動カーソル移動の速度）、ジェスチャー入力（ジェスチャーガイド、ジェスチャー感度、タッチ位置を中心に表示、高速表示、高速で閉じる、ジェスチャーガイドの表示時間、「や」キージェスチャー）、数字は確定入力を設定します。

QWERTYキーボード：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面、横画面）を設定します。

手書き入力：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード）を設定します。

共通設定：ひらがな入力時/英字入力時/数字入力時のキーボードの選択、使用するキーボード、MENUフリックの引用アプリ選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除キー、機能フリックガイド、バックキー、自動全画面化（横画面）、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。

• アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。

• [自動全画面化（横画面）] を有効に設定しても、アプリによっては全画面表示にならないものがあります。

変換候補一覧の表示：文字サイズ、候補の表示行数（縦画面、横画面）、表現モード、句読点の表現、推測訂正候補の表示、校正支援の表示を設定します。

デザイン：選べるキーボード、テーマ、ダークテーマ連動、キーボードのサイズ調整（テンキー（縦画面/横画面）、QWERTY（縦画面/横画面）、手書き（縦画面/横画面））、フローティングキーボード（縦画面、横画面）を設定します。

• [フローティングキーボード] の [横画面] を有効に設定しても、全画面表示のときはフローティングキーボードが無効になります。

ユーティリティ：ユーザー辞書の登録/編集、定型文の登録/編集、ATOK Sync（有効にする、共有した単語の確認、今すぐ更新、自動更新、更新間隔、Wi-Fi接続時のみ実行）、設定のエクスポート/インポート（設定のエクスポート、設定のインポート）、一括エクスポート/インポート（一括エクスポート、一括インポート）を設定します。

初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

• [設定の初期化] を実行しても学習データや編集したユーザー辞書/定型文は削除されません。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

Super ATOK ULTIAS：Super ATOK ULTIASのバージョンを確認します。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖ テキストのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには、[すべて選択] をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから [リンクテキストをコピー] などの操作ができます。

2 [コピー]／[切り取り]

✓お知らせ

- テキストをロングタッチし、[共有] をタップすると、選択したテキストをアプリで送信できます。
- 表示中のテキストによっては、本機能を利用できない場合や、表示されるメニューが異なる場合があります。

❖ テキストの貼り付け

1 貼り付け位置をロングタッチ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

- 貼り付け位置にテキストが入力されている場合は、貼り付ける位置をタップ→カーソルのつまみをタップ→ [貼り付け] をタップします。

◆ 外付けキーボードの利用

本端末とBluetoothキーボード (HID/SPP) やUSBキーボードを接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。
- Bluetoothキーボードの接続方法については、「Bluetooth機器との接続」をご覧ください。→P157

❖ 外付けキーボードの設定

- 外付けキーボードが接続されていると、キーボードが表示されます。

1 ホーム画面で[設定]→[システム]→[言語と入力]

2 [物理キーボード]→任意のキーボードを選択→[キーボードレイアウトの設定]→任意のキーボードレイアウトを選択